

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100419		
法人名	特定非営利活動法人しんまち		
事業所名	グループホーム和の家		
所在地	長野県長野市信州新町上条125-1		
自己評価作成日	平成 24年 11月 30日	評価結果市町村受理日	平成 25年 1月 31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 24年 12月 19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域に根差し、地域と共に歩む 他人だけど家族の関係を利用者さんも職員も築く 日々の暮らしの中に常に笑いのある暮らし

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成23年8月、長野市西部、信州新町地区に第一号のグループホームとして開設された。国道19号から少し入った所であり、以前、倉庫として使用されていた建物を全面改修し、一見、新築の体育館風に見えるのが当ホームである。認知症についての理解度が今一歩という中、地元の夏祭りに出かけたところ「何だ、普通じゃないか」との住民の声があった。運営者は市の出前講座や市民講座等の講師を務めながらグループホームの役割や活動について説明し、認知症の啓蒙活動とともに地域福祉の向上に熱心に取り組んでいる。重度化や終末期についてホームでの最期を望まれるのであれば本人・家族が安心して暮らすことができる支援に努めようとしている。協力医院の医師はホームと関わることで認知症についての理解を深め、開設一周記念年祭には認知症についての講演をしている。終末期に入退院を繰り返しながら病院で最期を迎えた身寄りのない利用者や他の利用者やその家族の了承を得てホーム葬として執り行い最期の旅立ちまで支援された。利用者も一緒に線香をあげたり、顔を擦ったりと家族のように別れを惜しんでいる。この地に認知症専門の福祉施設が出来たことで多くの住民が高齢化や認知症に対し知る機会が増えている。高齢化率46.2%と極めて高く、地区社協は地域マップ作りも始めている。介護計画のことや防災訓練のことなど、これからの課題はあるものの、開設から一年5ヶ月を経過し、地域密着型サービスの本来の姿を着実に具現化しつつある。今後の更なる成長を期待したい。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)		